

令和4年10月25日

報道関係者各位

山県市

江崎禎英氏と山県市小中学生が意見交換会

江崎ゼミを開催

11月3日（木・祝） 10時～ 市役所大会議室

山県市（市長 林 宏優 以下 当市）は、当市出身の社会政策課題研究所所長 江崎禎英さんをお招きし、市内小中学生18人への講話と意見交換会を行います。

名 称	江崎禎英氏と山県市小中学生との意見交換会「江崎ゼミ」
場 所	山県市役所 3階 大会議室（岐阜県山県市高木1000番地1）
日 時	11月3日（木・祝）10時～正午
参加者	社会政策課題研究所 所長 江崎 禎英（えさき よしひで） 山県市内小中学生18人（小学生6人 中学生10人） 山県市教育長 服部 和也 山県市学校教育課長 森川 勝介
内 容	（前半）江崎さんの講話 （後半）意見交換会 小中学生が講話の内容や普段から疑問に思っていることについて、自分の考えを話し、それに対して江崎さんの考えや助言を聞く形で意見交換会を実施する。 ※別紙は小中学生への開催案内チラシ

※取材いただける際は、前日までに次の担当者まで連絡いただきますようお願いいたします。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市教育委員会 学校教育課 主幹 山口正尊

Tel : 0581-22-6844

E-mail: yamaguchi-masataka@city.gifu-yamagata.lg.jp

山県市小学 6 年生・中学生の皆さんへ

江崎ゼミ 「世界の中の日本を考える」

夢を叶える人と諦める人、困難を乗り越えられる人と挫折する人がいます。成功する人と失敗する人、失敗を受け入れられる人と 結果を活かせられない人がいます。いったい何が違うのでしょうか。

小中学生の皆さん、思い出してみてください。学校や友達との関係でとても難しい状況に直面したとき、「あなたならどうするの?」と問われて、なんと答えてきましたか。もちろん何が正解かは分からないと思います。教科書にもその答えが書かれているわけではありません。

山県市では、「君はどう生きるか」の判断や決断に必要な力を、「生き方の軸」と呼ぶことにしました。世界中には、「生き方の軸」を明確にもって仕事をし、困難に立ち向かっている人がたくさんいます。

そんな人と直接対話し、自分の生き方を見つめてみる。本企画の第1回目は、旧山県郡美山町の小中学校で学び、日本の中枢で世界の要人と意見を交わし、「世界があこがれる日本の未来」を創ろうと頑張ってきた「江崎禎英氏」をお迎えして、山県市の皆さんと意見交換する機会をもちます。

江崎さんのキャリアや官僚という仕事、世界から見た日本などに関心をもっている諸君！是非参加して、あなたの疑問を確かめてください。

なお、参加者については、提出した「エントリーシート」の記載内容をもとに決定します。

日 時 令和4年11月3日(木) 文化の日
午前10時～11時30分

会 場 山県市役所 3 階会議室

参加者 小学校 6 年生から
中学校 3 年生 20 名程度

申込み方法

エントリーシート(参加申込書)を担当の先生からもらってください。その用紙に記入の上、学級担任の先生へ提出してください。

提出締め切り日 10 月 3 日(月)



社会政策課題研究所 所長
江崎禎英(えさき よしひで)氏

江崎禎英氏略歴

昭和 52 年	美山町立 乾小学校 卒業
昭和 55 年	美山町立 美山南中学校 卒業
昭和 58 年	岐阜県立 加納高等学校 卒業
平成元年	東京大学 国際関係論 卒業 通商産業省 入省
平成 3 年	大蔵省 証券局
平成 8 年	英国 留学
平成 9 年	欧州委員会 (EC)
平成 12 年	内閣官房 内閣内政審議室
平成 16 年	経済産業省 大臣官房総務課 企画官
平成 17 年	資源エネルギー庁 エネルギー政策企画室長
平成 21 年	岐阜県庁 商工労働部長
平成 24 年	経済産業省 生物科学産業課長
平成 27 年	経済産業省 商サG 政策統括調整官 兼 内閣官房 健康・医療戦略室 次長
平成 30 年	厚生労働省 医政局 統括調整官併任
令和 2 年	内閣府 大臣官房審議官 (科学技術・イノベーション担当)
令和 3 年	社会政策課題研究所 所長



【問い合わせ】

山県市教育委員会 学校教育課
電話 0581-22-6844 (平日のみ)